OUTDOOR &SPORTS

VICTORINOX 005

My First Victorinox Multi Tools

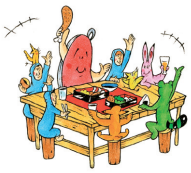
vol.5 アウトドアテーブルをつくろう

VICTORINOX

ビクトリノックスのマルチツールは、今から130年ほど前、スイスの小さな村で生まれました。今回は、子ども用に開発された「ティンカー for KIDS」を使って、ピクニックやキャンプで活躍するアウトドアテーブルをつくります。先生は、家具職人の兒玉純弥さんです。

How to make an Outdoor Table

アウトドアテーブルをつくろう



用意するもの

ティンカー for KIDS
杉胴縁
　長い幕板（13×45×600mm　2本）
　短い幕板（13×45×430mm　2本）
　脚ぬき（13×45×404mm　2本）
　脚（13×45×300mm　4本）
　天板（13×45×450mm　12本）
アクリル平ベルトA（660mm　2本）
アクリル平ベルトB（600mm　2本）
トラスネジA（3.5×12mm　28本）
トラスネジB（4×25mm　20本）
はさみ
定規
えんぴつ

point!▶ 今回使用した杉胴縁は、ホームセンターで購入できる木材。ホームセンターでは、好きな長さにカットしてもらえます。木を丸く削るときには、筒や紙コップの底など、丸いモノを定規にするとGOOD。ペイントをするときは、つくりかた**5**の後にペイントをしましょう。

1 木材の表裏ともに、ネジをしめる場所にえんぴつで印をつけます。短い幕板と脚ぬきは左右ともに端から6mm上下からそれぞれ10mmの2ヶ所、脚2本は端から22.5mm、上から15mm、残りの脚2本は端から22.5mm、下から15mmの位置に印をつけます。

2 木材の表と裏から、印をつけた場所にリーマーでネジを通す穴をあけます。ネジをしめこむ方は、リーマーで軽く掘ります。こうすることで、割れを防ぎ位置もずれにくくなります。

3 脚4本の上下をラウンドティップ・ブレードで丸く削ります。

4 ラウンドティップ・ブレードで、各木材の4隅の面を取ります。

5 面を取った部分をつめやすりでならします。

6 長い幕板と短い幕板、脚と脚ぬきは端々を揃えて、脚と長い幕板は端と上下を合わせて、下穴をあけた場所にネジBをプラスドライバーでしめていきます。

7 脚を開ききった位置でそれ以上開かないように補強するために、ネジAをプラスドライバーでしめ、脚に平ベルトAを取りつけます。

8 天板を裏にして、端から25mm、上下中心の22.5mmの位置で長さ平ベルトBを、板の間に5mm程度の隙間をあけて、ネジAをプラスドライバーでしめていきます。

9 天板を乗せたら、完成！

profile

兒玉純弥／1976年生まれ。2010年に静岡市でオーダーメイドの家具ブランド「KDM PRODUCTS」をスタートさせる。普遍的なデザインを尊重しつつ、ファブリックや鮮やかな色を施すなどKDMならではのハンドメイドの良さが伝わる家具やフレームを製作中。
kdmproducts.com

写真：福田真知子　イラスト：中垣ゆたか

VICTORINOX

スイスの小さな村で生まれたマルチツール

1884年、ドイツとフランスで刃物づくりの修業を積んだ創業者カール・エルズナーが、故郷スイスのイーバッハという小さな村で工房を開設したことから始まり、ビクトリノックスのマルチツールは生まれました。創業から1世紀以上、人々の日常生活をサポートするだけでなく、エベレスト、アマゾンやスペースシャトルの船内など、さまざまなアドベンチャーの現場にも立ち会っています。

VICTORINOX for KIDS

先端が丸くなったナイフを搭載したマルチツール「ティンカー for KIDS」は、子どもが初めてもつ1本として推奨しています。その「ティンカー for KIDS」と、ナイフを使った工作を提案する「脳育工作キット」をセットにした「ビクトリノックス脳育工作BOXセット」。ナイフの正しい使いかたを学べる教本も同梱され、ナイフ経験に自信のない保護者の方でも、子どもと一緒に楽しむことができるセットです。

ティンカー for KIDS（単品）
¥2,800（税抜）

脳育工作 BOX セット
ひのきのおやこばし
¥3,800（税抜）

脳育工作 BOX セット
ひのきのとんぼ
¥3,800（税抜）

［お問い合わせ］ ビクトリノックス・ジャパン株式会社　☎ 03-3796-0951
www.victorinox.com/jp